



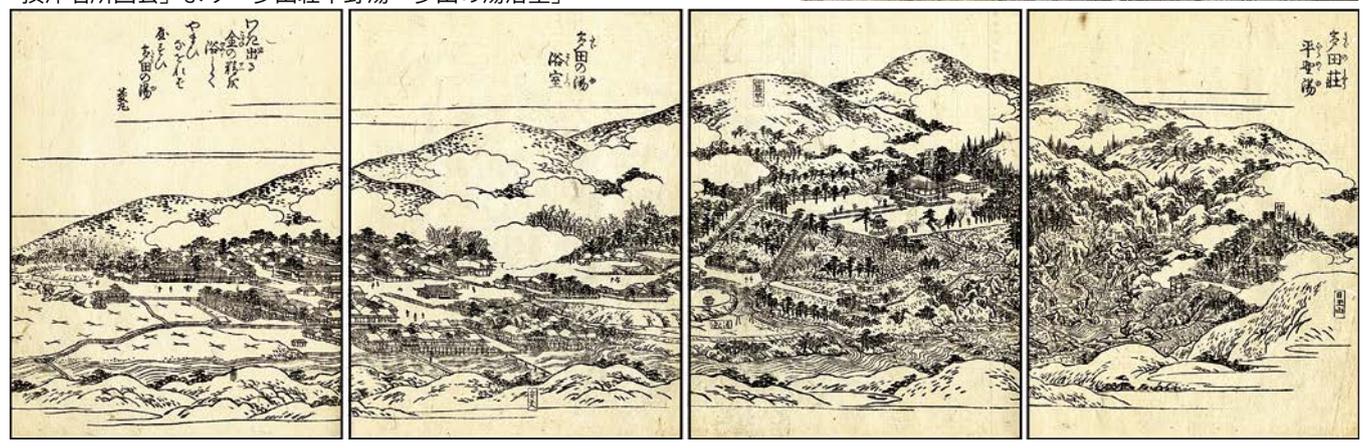
「多田平野湯之町温泉薬師庵」石碑

住宅都市の川西市 実は温泉郷だった!?

有馬温泉と並ぶ「平野湯」と「一庫湯」
江戸時代後期の郷土誌で紹介

【問合せ】社会教育・文化財課 ☎(740)1244

「摂津名所図会」より「多田荘平野湯・多田の湯浴室」



摂津名所図会

江戸時代後期に刊行された「摂津名所図会」（中央図書館調査相談室で閲覧可）。同書は摂津国（おおむね大阪府北中部や兵庫県南東部）の名所を絵画と文章で紹介した郷土誌です。

この図会には、江戸時代、摂津国にあった湯として「有馬温泉」とともに「平野湯」と「一庫湯」の様子が描かれています。

「平野湯」は能勢電鉄「平野」駅周辺にあった温泉場のことです。図会によると平野湯の源泉は『全く冷泉でもなく全く温泉でもない。その中間で滔々と湧出している。味は鹹く渋みを帯びている』と記されています。当時は源泉をつるべくみ上げ、ゆといで浴室に運び、そこでまきをたいて温湯にしていたようです。

また、同書には平野湯の旅館の様子を詳しく描いた絵も載っています。将棋を指す人、茶の湯を楽しむ人、蹴鞠に興じる人などが描かれています。表の人通りも多く、活気に満ちた様子がうかがえます。

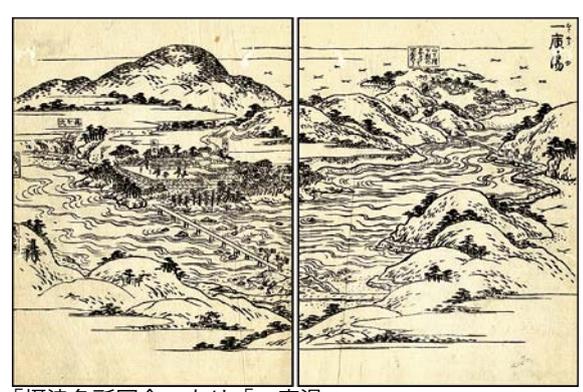
現在は商業店舗が立ち並び、温泉場があった様子は全くありません。ただ、当時をしのぶものとして、湯之町の地名と「多

田平野湯之町温泉薬師庵」と彫られた石碑が残っています。

「一庫湯」は一庫ダムの堰堤

「一庫湯」は一庫ダムの堰堤下、一庫大路次川の渓流沿いにあった温泉場です。図会には「川辺に楼造りにして風流なり。すべてのほとり幽邃閑寂にして、静座悠々、塵垢を隔てた勝邑なり」とあり、趣深い温泉場だったことがうかがえます。

昭和50年代に一庫ダムが出来るまでは、温泉場の対岸にあった旅館で湯に入れたそうです。しかし、温泉場は現在小さな公園になり、川沿いにわずかながら石垣が残るだけとなっています。



「摂津名所図会」より「一庫湯」

CHECK & QUIZ 次の空欄（○の中）を埋めてください。

1：【特集】私たちが動かす夏○り 2：猪名川○火大会
正解者の中から市特産のいちじく「朝採りの恵み」1箱を5人に。引き換えは8月16日(水)に開催するいちじく品評即売会の会場で（正解者多数の場合は抽選。当選者のみに引換券を送付）。応募方法：ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、興味のある記事と感想を書き、8月8日(火)（必着）までに〒666-8501・かわにし魅力推進室「クイズ」係へ。
※7月号の正解は（在）（キ）で、68通の応募がありました。

6月末現在の人口

男	75,605	(- 6)
女	83,670	(+ 21)
計	159,275	(+ 15)
世帯数	69,562	世帯(+ 18)

川西の元気いっぱいキャラクター きんたくん

夏祭り
楽しみだな